

令和5年11月9日

公立小松大学学長候補者の決定について

公立大学法人公立小松大学学長選考会議
議長 山崎 光悦

公立大学法人公立小松大学学長選考会議は、次期学長候補者を下記の通り決定しました。

記

1. 学長候補者の氏名

やまもと ひろし
山本 博 (公立大学法人公立小松大学 学長)

2. 任期

令和6年4月1日～令和8年3月31日(2年)

3. 当該学長候補者の選考の理由

学長選考会議では、令和5年7月3日に決定・公表した「公立小松大学学長候補者選考 実施要領」に基づき、次期学長候補者に係る選考を開始した。学長選考基準に基づき次期学長候補適任者の推薦を求めたところ、山本 博氏の推薦があり、9月4日の第3回学長選考会議において、推薦書、被推薦者の履歴・業績書及び所信表明書に基づき学長候補適任者であることを確認した。

9月20日に開催した「所信を聴く会」では、学長候補適任者の山本 博氏が所信を表明するとともに、参加者との質疑応答を行い、その後、同日から9月27日まで役員及び職員の意向調査を実施した。11月9日の第5回学長選考会議では、学長候補適任者に対し、面接を実施した。

これらの結果を総合的に判断し、慎重に審議した結果、本会議が定めた「公立小松大学学長選考基準」に示す資質・能力を有する適任者として、山本 博氏を次期学長候補者と決定した。

山本 博氏の公立小松大学学長としての2期(6年)に及ぶ同大学の教育・研究活動と大学運営への貢献・実績を高く評価した。時代や社会が大きく、また急激に変化している中であって、同氏が掲げる明確な将来ビジョンの実現に向け、優れたリーダーシップとマネジメント能力を発揮し、大学の強みや特色を活かし、魅力ある教育・研究活動の展開を通じ、公立小松大学が、地域・世界の発展を支える「知」の拠点として、その機能をさらに強化していくことを期待する。

4. 選考の過程

(1) 公立小松大学学長候補者選考 実施要領 を公表 (令和5年7月3日)

学長選考基準と合わせ、学長候補者選考方法及び日程、推薦要領を公立小松大学ホームページで公表

(2) 学長候補適任者の推薦受付 (令和5年7月3日～8月18日)

以下1名の推薦を受理

山本 博 氏 (公立小松大学学長)

(3) 学長候補適任者の決定 (令和5年9月4日)

第3回学長選考会議において、全員一致で、山本 博氏を学長候補適任者に決定

(4) 学長候補適任者の所信を聴く会の開催 (令和5年9月20日)

開催場所：中央キャンパス講義室・Zoomウェビナー

内容：学長候補適任者による所信の表明、質疑応答

(5) 学内意向調査の実施 (令和5年9月20日～9月27日)

役員及び常勤職員を対象に、学長候補適任者の学長選考基準への合致度 (期待度) を問う学内意向調査を実施

(6) 学長候補適任者に対する面接及び選考 (令和5年11月9日)

第5回学長選考会議において、学長候補適任者山本 博氏と面接を実施し、推薦時に提出された書類、所信等の説明の結果、面接の結果、学内意向調査の結果を総合的に判断し、次期学長候補者に決定

以上